

第3章 芸術文化振興プランの基本的な考え方

1 芸術文化振興の目的

区民が普段から芸術文化に触れられ、
自ら身近な芸術文化活動に関わり、
芸術文化によるコミュニケーションが活発になることを目的とし、
「文化縁」の形成とその充実を図り、芸術文化の振興を図ります。

芸術文化の分野は、人々が年齢、性別、所得や国籍などにとらわれることなく、芸術文化という共通事項をきっかけとし、様々な境界を超えて人と人との「縁」を結ぶことができます。目黒区は、この「縁」を「文化縁」とし、「文化縁」の形成に力を入れてきました。

これからも、これまで培ってきたそれぞれの「文化縁」を下地として、さらにこの「文化縁」の充実を図ることで、コミュニケーションやネットワークを広げ、あまねく区民が芸術文化を享受できる状況を生み出すことを目的とします。

※「文化縁」について

芸術文化振興プランを策定した時、当時の目黒区芸術文化振興計画策定委員会では、芸術文化を契機として、人々の間に生まれる新しく豊かなコミュニケーションと、それを通して形成される人々のつながり（コミュニケーション、ネットワーク）を「文化縁」と名づけました。

区はそれを受け、芸術文化振興プランの中で、「文化縁」の形成を、目黒区が目指す芸術文化振興の大切な考え方としています。

2 芸術文化振興の目標

芸術文化振興の目的を達成するため、次の3つの目標を掲げ、それぞれの施策を相互に関連させながら展開します。

【目標1】 芸術文化への多彩なアプローチづくり

区民のニーズとしては意識調査にみられるように、気軽に参加できる身近な芸術文化や地域で触れられる芸術文化の機会の充実が求められています。

区は、区民が求める多種多様な芸術文化への要望にこたえていくために、芸術文化施設や地域の集会施設などの設備や特色を活かした多彩な事業展開を行うとともに、多くの芸術文化を紹介し、区民一人一人に芸術文化に触れる機会を提供します。

特に、区民が芸術文化活動を気軽に行い芸術文化を身近に感じられるように、従来までの学校教育、生涯学習や芸術文化施設を中心とした事業の展開に加え、放課後の子どもの活動や高齢者の集まりなどを視野に入れ、それぞれの地域の公共施設等を活用した芸術文化事業を推進します。



平成27年度
ミュージアムコンサート
(目黒区美術館にて)



平成27年度
アウトリーチプログラム
(特別養護老人ホーム中目黒にて)

【目標2】 芸術文化活動への支援

区民を主体とした、地域における芸術文化活動は、人々に安らぎや生きがいを与え、地域における連帯感や豊かなコミュニケーションを育てます。

区は、子どもから高齢者までの地域における自主的な芸術文化活動を支援し、文化団体やボランティアの活動機会の充実を図るよう具体的な施策を推進します。

特に子ども達の心を豊かに育むため、子ども達自身が参加し、自ら連帯感や表現する喜びを感じることでできる芸術文化活動の場の創出を促進します。

また、区民一人一人が、世代や生活形態、障害の有無にかかわらず芸術文化に親しみ、生涯にわたって自ら芸術文化活動を楽しめるように、芸術文化活動の場の提供や自らが芸術文化活動を楽しむための取組を支援するとともに、芸術文化施設の環境整備や利用サービスの向上に努めます。



平成27年度 目黒区文化祭
(めぐろパーシモンホールにて)

【目標3】 ネットワークの充実

区民が主体的に芸術文化活動を行う中で、互いに共感し、感動しあい、人々の間に芸術文化をきっかけとして形成される新しいコミュニケーションやネットワークである「文化縁」は、学校教育や生涯学習を中心としたきっかけづくりから、区民生活のコミュニティ形成や生きがいづくりなど新たなステージへと展開しています。

今後、芸術家・文化人をはじめ芸術文化活動の担い手となる区民への支援を行いながら、国内外の都市や企業、団体、大学等との芸術文化交流を進める中で、より多彩な「文化縁」の展開が考えられます。

これまで培ってきた「文化縁」を基礎として、それぞれの「文化縁」相互の連携を促進するとともに、多文化との共生や他分野、企業等との連携により、新たな「文化縁」への発展、充実に努めます。